

シラバス参照

科目名	経営プログラミング演習
配当年次	2年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	野澤 智(ノザワ サトシ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 月曜日 3時限 13－401

※	
授業の目的・目標	1. 授業の概要 この授業は情報学の応用レベルです。この授業では、コンピュータを用いた会計情報処理の基礎となるプログラミング言語を学習します。特に、Excelのマクロ機能およびVBA(Visual Basic for Applications)についての詳しい講義と演習を行います。自宅での準備学習等のために、自宅で利用できるWindows PCを持っていることを推奨します。 2. 授業の目的 Excelプログラミングに関する、より高度なスキルを身につけることを目標としています。 3. 学習成果 ビジネス総合学科のディプロマポリシーの②考える力(プログラム制作過程を通して、自分で考える)、⑤ビジネススキル(情報処理に関するスキル) 4. 授業の到達目標 Excelにおけるマクロ機能を理解し、自分で簡単なExcelプログラミングができるようになる。短大のディプロマポリシーの①広い教養と深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身につける。
準備学習等の指示	毎回、次の授業で行う演習課題(例題)を指示します。例題は教科書に解答が記載してありますから、事前に読んでおいてください。また、授業中に課題を出すことがあります。この予習・復習は自宅で自由に使えるWindows PCを用いて行って下さい。一回の予習・復習にかかる学習時間の目安は3時間30分程度です。
講義スケジュール	この授業では、以下のことができるようになることが目標です。 1. VBAの基礎知識1 Excelにおけるマクロ機能とVBAの概要の理解 2. VBAの基礎知識2 Visual Basic Editorと記録マクロの作成・保存 3. VBAの基礎知識3 ユーザーフォームと標準モジュールの作成 4. VBA基本プログラミング1 名簿の並べ替えに関するプログラミングと課題作成 5. VBA基本プログラミング2 セルの色分けに関するプログラミングと課題作成 6. VBA基本プログラミング3 繰り返し操作に関するプログラミングと課題作成 7. VBA基本プログラミング4 作業の自動化に関するプログラミングと課題作成 8. VBA基本プログラミング5 第2章の実習問題の演習と課題提出 9. VBA実践プログラミング1 データベースを利用したプログラミングと課題作成1 10. VBA実践プログラミング2 データベースを利用したプログラミングと課題作成2 11. VBA実践プログラミング3 データベースを利用したプログラミングと課題作成3 12. VBA実践プログラミング4 第3章の実習問題の演習と課題提出 13. まとめ
教科書	事前にプリントを配布します。
参考文献	授業開始時に指示します。
授業の方法	講義(50%)と演習(50%)。授業では、はじめに例題を用いて解説(講義)を行います。次に例題を理解した上で、各自実習課題に取り組んでもらいます。
成績評価方法	1. 評価方法と割合 課題提出20%、中間試験30%、期末試験50% 2. 評価基準 課題については、すべての課題が提出されていることを最低基準とします。 中間試験と期末試験については、設問の理解度に応じて評価します。

	3. フィードバックの方法 提出課題と中間試験については、授業中に解答例を提示します。
オフィスアワー	授業開始時に指示します。
居室	13号館6階 13-627室
ホームページ	
その他特記事項	プログラミング(Visual Basic)に関する基礎的知識があることが望ましいので、初級プログラミング演習を履修しておくことをお勧めします。
添付ファイル	